Cisco TelePresence Recording Server の多重 脆弱点

Critical

アドバイザリーID : cisco-sa-20110223-telepresence-ctrs

初公開日 : 2011-02-23 16:00

バージョン 1.0 : Final

CVSSスコア : 10.0

回避策 : Yes

Cisco バグ ID :

CVE-2011-0391
CVE-2011-0383
CVE-2011-0384
CVE-2011-0392
CVE-2011-0382
CVE-2011-0385
CVE-2011-0386

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

多重 脆弱点は Cisco TelePresence Recording Server の内にあります。 この Security Advisory は次の脆弱性の詳細を概説します:

- Java Servlet 非認証アクセス
- コモン ゲートウェイ インターフェイス （ CGI ） コマンド インジェクト
- 非認証任意 ファイル アップロード
- XML リモート プロシージャ コール （ RPC ） 任意 ファイル上書き

- Cisco Discovery Protocol（CDP）リモート コード 実行
- Denial of Service（DoS/DDoS）アド ホックな記録
- Java Remote Method Invocation （RMI） Denial of Service（DoS/DDoS）
- 非認証 XML-RPC インターフェイス

他の Cisco TelePresence アドバイザリの重複した問題識別

Java Servlet 非認証アクセスの脆弱性は Cisco TelePresence マルチポイント スイッチおよび Recording Server に影響を与えます。 各コンポーネントと関連している問題は各々の関連するアドバイザリでカバーされます。 これらの問題のための Cisco バグ ID は次の通りです:

- Cisco TelePresence マルチポイント スイッチ- CSCtf42008
- Cisco TelePresence Recording Server - CSCtf42005

非認証任意 ファイル アップロード脆弱性は Cisco TelePresence マルチポイント スイッチおよび記録サーバに影響を与えます。 各コンポーネントと関連している問題は各々の関連するアドバイザリでカバーされます。 これらの問題のための Cisco バグ ID は次の通りです:

- Cisco TelePresence マルチポイント スイッチ- CSCth61065
- Cisco TelePresence Recording Server - CSCth85786

Cisco Discovery Protocol（CDP）リモート コード 実行脆弱性は Cisco TelePresence エンドポイント、マネージャ、Multipoint Switch および Recording Server に影響を与えます。 各コンポーネントと関連している問題は各々の関連するアドバイザリでカバーされます。 これらの問題のための Cisco バグ ID は次の通りです:

- Cisco TelePresence エンドポイント デバイス- CSCtd75754
- Cisco TelePresence Manager - CSCtd75761
- Cisco TelePresence マルチポイント スイッチ- CSCtd75766
- Cisco TelePresence Recording Server - CSCtd75769

Java RMI サービス拒否の脆弱性は Cisco TelePresence マルチポイント スイッチおよび Recording Server に影響を与えます。 各コンポーネントと関連している問題は各々の関連するアドバイザリでカバーされます。 これらの問題のための Cisco バグ ID は次の通りです:

- Cisco TelePresence マルチポイント スイッチ- CSCtg35825
- Cisco TelePresence Recording Server - CSCtg35830

このアドバイザリは http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20110223-telepresence-ctrs で掲示されます。

該当製品

修正済みソフトウェア

影響を受けたソフトウェアのバージョンを実行している Cisco TelePresence Recording Server デバイスは影響を受けています。

Cisco TelePresence Recording Server で動作しているソフトウェアの最新バージョンを判別するために、デバイスに SSH によってアクセスし、**show version アクティブ**および **show version 非アクティブ** コマンドを発行して下さい。 出力は次の例に類似するはずです:

```
admin: show version active
Active Master Version: 1.7.0.0-151

Active Version Installed Software Options:
No Installed Software Options Found.

admin: show version inactive
Inactive Master Version: 1.6.2.0-237

Inactive Version Installed Software Options:

No Installed Software Options Found.
```

前述の例では、システムにデバイスでロードされるバージョン 1.6.2 および 1.7.0 があり、バージョン 1.7.0 は現在アクティブです。 デバイスはアクティブなソフトウェア バージョンにある脆弱性からだけ影響を受けます。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.0	2011-February-23	初版リリース

利用規約